

2020年度 自己点検・自己評価

学校法人未来学園 大阪総合福祉専門学校 日本語教育課程

評価 5：達成 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組み検討中 1：改善が必要

【1】教育の理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念、目的・目標が明確となっているか	5
1-2	学校の育成する人材像が明確となっているか	5
1-3	学校の理念、目的・目標が社会のニーズに合致しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1-1～1-3)

ITの発展、交通の利便化により世界中で国際化が促進し、それに伴い日本の専修学校、大学、大学院への留学生が増加している。それらの者が日本において学習するには日本語の理解が不可欠となる。本校は、専修学校・大学・大学院へ進学を希望する留学生が、日常生活はもちろんのこと、研究・学習をするために必要な日本語力を習得できるカリキュラムを導入し、積極的に進学を進める。また、将来的に日本の社会に貢献するであろう海外からの留学生に日本語を教育することで、留学生の国際人としての人材育成、ひいては日本国の発展、社会貢献を実現することを目的としている。

なお、本校の日本語学科の学生の多くは、本校の介護福祉学科への進学を希望し、介護福祉士の国家資格取得後は日本で介護福祉士として従事することを目標としている。そのため、本校では日本語で不自由なくコミュニケーションを図ることができ、日本の文化や習慣等に深い理解を示す人材を育成する。これらの理念・目標及び育成する人材像は、教職員等に周知されている。

【2】学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
2-3	学校の組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(2-1～2-3)

日本語教育機関の告示基準に沿った運営体制を整備し、理念や目的に沿った運営方針や事業が選定され、組織運営、管理されている。また、各種事案については、事務局会議と教務会議を経て責任者会議で決定することで意思決定システムは確立されており効率的に機能している。

教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みは、今後も組織としてより強固に取り組んでいく。

【3】教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
3-2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか	5
3-3	教育課程や成績評価、進級、修了の判定基準は適切に運用されているか	5
3-4	教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	4
3-5	教育課程の改善のための取り組みが行われているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

(3-1～3-5)

<p>学生の成績評価や進級・修了については、学期ごとに行われる成績判定会議により判定される。教務主任が定期的に各教員の授業内容を確認し、指導・改善が必要と判断される教員には別途指導を行ったり、教務主任等による研修会等を実施したりしている。次年度以降は、外部から講師を招いて指導力向上のための研修会の実施を検討している。</p> <p>引き続き、教員間の情報や指導技術の共有を進め、授業運営を円滑化し、学生がより良い教育を受けることができるように努めていく。</p>
--

【4】学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	学生の日本語能力の向上が図られているか	4
4-2	学生の日本語能力について適切に把握されているか	4
4-3	学生の進路を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(4-1～4-3)

<p>学生の日本語能力については、定期試験後に個人面談等で、勉強方法などの改善や進路指導を行っている。また、日本語能力試験、NAT-TEST 等外部の試験を積極的に受験するよう推奨している。学生の入学から卒業までの学習成績や日本語能力試験等の外部試験の結果は適切に記録している。また、外部試験の結果は教育内容の改善やクラス編成の際の資料として有効活用しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、従来通りに外部試験を受験することはできなかった。</p> <p>なおほとんどの学生は、日本語学科卒業後は本校の介護福祉学科への進学を希望している。</p> <p>引き続き、総合的な日本語能力の向上を図りつつ、それぞれの日本語能力に応じたレベルの日本語能力試験の合格を目指す。</p>
--

【5】学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	学生に対する学習相談の支援体制が整備されているか	5
5-2	学生に対する進路の支援体制が整備されているか	5
5-3	学生の健康管理について支援体制が整備されているか	5
5-4	学生の日本での生活指導の支援体制が整備されているか	4
5-5	防災や緊急時における体制が整備されているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

(5-1~5-5)

コロナ禍においても、学生からの質問・学習相談等への対応は迅速にフォローするよう努め、進路相談も担任教員・教務主任を中心に随時行うことができた。

健康診断は年1回実施し、日々の健康状態についてはオンライン授業開始時や登校日は通学時に確認を行い、通院・入院等治療が必要な学生が生じた際には、生活指導担当者が健康回復まで十分なケアを行った。また、通常は全学生を対象として避難経路・避難場所を定めた避難訓練を年1回実施しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で説明のみ行った。

【6】教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
6-2	使用する教材は適切か	4
6-3	学習効率を図るための環境整備がなされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

(6-1~6-3)

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、ZOOMを使用したオンライン授業を実施するため、学校内及び留学生寮のネット環境を整備した。しかし、オンライン授業の際に使用する教材や資料の作成には手間がかかった。今後は、今年度の経験を踏まえ、特殊な状況にも対応できるようカリキュラムや教材・資料をあらかじめ準備し、教育の質が低下しないよう努める。

【7】入学者の募集

番号	評価項目	評価
7-1	入学者の募集は適切に行われているか	5
7-2	入学者募集の際に学校の情報は正確に伝えられているか	5
7-3	授業料等は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(7-1~7-3)

入学希望者には、送出し機関を通して理解できる言語で情報を伝えており、書類選考と面接試験等で日本語のレベルチェック、学習意欲や目標、経費支弁状況などを確認した上で受け入れを決定している。ホームページをリニューアルし、日本への留学希望者が多いベトナム人向けのベトナム語版のページを設けた。

【8】財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的な財務基盤は安定しているか	5
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	5
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	5
8-4	財務情報の公開の体制はできているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(8-1～8-4)

財務状況は、学校法人として管理されており、中長期的に安定した経営が行われている。また、予算・収支計画の有効性及び妥当性も保たれている。そして、適正な会計監査が実施されている。

【9】法令遵守

番号	評価項目	評価
9-1	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等の遵守が行われているか	5
9-2	出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等に基づいて適切に運営できているか	5
9-3	個人情報の保護について適切に取り組みがなされているか	5
9-4	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

(9-1～9-4)

各法令を遵守して適正な運営に努めており、日本語教育機関として適正校の認定を受けている。個人情報の保護については、取り扱う個人情報関連の書類が多くなってきたため、今後も適切な情報管理を継続していく。
自己点検・評価は、年1回実施し、課題点に関しては改善できるよう努めている。また、ホームページでの公開準備を進めている。

【10】地域貢献・社会貢献

番号	評価項目	評価
10-1	日本語教育機関の資源や施設を利用して社会貢献・地域貢献を行っているか	2
10-2	学生のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などを行っているか	2

<現状・具体的な取り組み/課題>

(10-1～10-2)

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外部との交流を行うことができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況が収束すれば、地域貢献・社会貢献、ボランティア活動に従事できる体制を構築していく。